

所蔵作品展「MOMATコレクション」

2018年6月5日[火]ー9月24日[月・祝]

東京国立近代美術館(MOMAT, 千代田区)では、国内最大規模約**13,000点**の所蔵作品から約**200点**を厳選して紹介する所蔵作品展「MOMAT コレクション」を4階から2階で開催しています。

時宜に適ったテーマや切り口で、年に数回、ガラッと作品を入れ替える所蔵作品展「MOMAT コレクション」は、多様な作品をとらえて**明治以降の日本美術の流れ**をたどることができる唯一の展示として、知る人ぞ知る充実の展覧会です。



和田三造《南風》1907年 重要文化財

■ 今期のみどころ

① 明治から昭和まで、1時間でたどる時間旅行

20世紀はじめから今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連も含めてご紹介するMOMATコレクション。

第1室は「ハイライト」コーナーで、当館選りすぐりの名品が凝縮されています。第2室から第12室にかけては、明治から現代まで時代を追って美術の流れをたどることができます。

今期、各室のテーマも作品も大幅に入れ替わりました。第2室以降はおおよそ時代順ですが、例えば昭和戦前・戦中期でも「パリに結ぶ友情」や「戦争の時代と動物たち」など、部屋ごとにテーマをたてて作品が選ばれています。作品の時代背景にも思いを馳せつつ、小さな時間旅行をお楽しみください。

② 明治150年にちなんだ特集展示を開催します

今年は、明治改元からちょうど150年。これにちなみ、第10室で明治時代の美術を特集します。土田麦僊《島の女》(7月29日まで展示)などの日本画のほか、**新たに国の重要文化財に指定されることになった和田三造《南風》**などの洋画、さらには吉田博《新月》(7月31日から展示)など水彩画の名品も紹介します。彫刻作品からは新海竹太郎《ゆあみ》を、重要文化財となっている石膏原型とあわせて展示します。また4階ハイライトコーナーでも、鏑木清方《明治風俗十二ヶ月》を全点展示(7月29日まで)するなど明治時代をふりかえる絶好の機会です。

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先:

東京国立近代美術館 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 e-mail: pr-f@momat.go.jp

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

③ デイヴィッド・スミス《サークルⅣ》を新たに収蔵しました

昨年、当館は戦後アメリカを代表する彫刻家デイヴィッド・スミスの大作《サークルⅣ》を収蔵しました。円や四角といったシンプルな形から成り立っていますが、構成のバランスや筆あとを活かした彩色などもあいまって、見る角度によって様々な表情を見せるところが印象的です。今回はこの作品を、関連作家の彫刻などとあわせて展示します。

デイヴィッド・スミス《サークルⅣ》1962年

©The Estate of David Smith

Photo courtesy the Estate and Hauser & Wirth



■ ギャラリー4 コレクションを中心とした小企画

瀧口修造と彼が見つめた作家たち（6月19日－9月24日）

美術評論家・詩人の瀧口修造（1903-1979）は日本にシュルレアリスムを紹介し、また若手作家を理念的に支援し続けたことで知られています。

当館コレクションより、瀧口自身の作品13点に加え、彼が関心を寄せたエルンストやミロなどシュルレアリスムの画家、北脇昇ら戦前の前衛画家、山口勝弘、福島秀子、大辻清司ら実験工房の作家、赤瀬川原平、荒川修作ら戦後の前衛作家などの作品を展示します。

■ 連続ミニレクチャー 瀧口修造をもっと知るための五夜

- 第一夜 7月27日（金）「瀧口修造と“物質”」
- 第二夜 8月10日（金）「瀧口修造とデカルコマニー」
- 第三夜 8月24日（金）「瀧口修造と瀧口綾子」
- 第四夜 9月7日（金）「瀧口修造と帝国美術学校の学生たち」
- 第五夜 9月21日（金）「瀧口修造と福沢一郎」

時間： 各回とも18:30－19:00

担当研究員：大谷省吾（美術課長、本展企画者）



瀧口修造《デカルコマニー》制作年不詳

■ 画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品は、どれでも無料（広報扱い）で画像を貸し出しています。貸し出しの条件は次のとおりです。

1. 展覧会（所蔵作品展「MOMATコレクション」）の会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会名（所蔵作品展「MOMATコレクション」）と会期、掲載作品が展示中であることを記してください。
3. 原則として、トリミングや文字載せはお断りします。
4. 著作権の保護期間内にある作品については、著作権者の許可をとってください。
ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間内にある作品もご利用になれます。
5. 画像の二次使用は原則できません。
6. 作品によっては、カラー画像が未撮影の場合もあります。事前にお問い合わせください。
7. 会期外の使用は、DNPアートコミュニケーションズ（<https://images.dnpartcom.jp/>）へご申請ください。有料です。

■ 昨年好評をいただいた「サマーフェス」も開催予定！後日、より詳しいプレスリリースを用意します。

■ 夜間開館がおすすめ！

週末の夜、ゆったりとした気分で名品と向き合う贅沢なひとときはいかがでしょうか。

金曜日と土曜日は夜8時まで開館しています。また、企画展「ゴードン・マッタ＝クラーク展」会期中(6月19日－9月17日)の金曜・土曜は、特別に夜9時まで開館します(入場は閉館30分前まで)。

・お得な「5時から割引」実施中！

夕方5時以降に入館すると、割引料金でご覧いただけます。(一般500円→300円 大学生250円→150円)

さらに「ゴードン・マッタ＝クラーク展」会期中(6月19日－9月17日)は、夕方5時以降大学生無料です。

(「ゴードン・マッタ＝クラーク展」は有料)

◆フライデー・ナイトトーク

7月20日・27日、8月3日・10日・17日・24日・31日、9月7日・14日

各日とも、19:00～19:25頃／19:30～19:55頃

※事前予約不要、要観覧券

■ こども向けプログラム

◆おやこでトーク

日時：7月7日(土)10:20～11:30／13:20～14:30

7月14日(土)10:20～11:30／13:20～14:30

7月15日(日)10:20～11:30／13:20～14:30

対象：年中～年長の幼児とその保護者(2人1組)

定員：各回15組

※要事前申込み、保護者は要観覧券

◆こども美術館

日程：8月18日(土)・19日(日) ※時間帯は調整中

対象：小学1年生～小学4年生

※要事前申込み

■ 作品解説をお手持ちのスマホで

6月5日より、所蔵作品展「MOMATコレクション」の作品解説(和英中韓の4ヶ国語)を、お客様ご自身のスマートフォンでダウンロードしてお楽しみいただけるようになります。当館では昨年から作品解説の多言語化を整備し、これまでもiPadを貸し出す方式で導入を進めてきましたが、展示室内のWi-Fi環境も整い、このたび本格導入となります。

まずは「Catalog Pocket」というアプリをダウンロード。展示中の作品のうち、約100点の作品解説を4ヶ国語でご覧いただけます。解説を自動読み上げ音声で聞くこともできます。完全無料です。

なお、この事業はDNP大日本印刷のご協力によるものです。

■ キュレータートーク

6月9日(土)14:00～15:00 古館遼(研究員)

7月22日(日)11:00～12:00 中村麗子(主任研究員)

* テーマ等詳細は当館HP(<http://www.momat.go.jp/am/exhibition/>)にてご確認ください。

■ 所蔵品ガイド

毎日1時間ほど、対話を交えたギャラリートークを行っています。

最大の特徴は、作品解説を聞く一方向的なものではなく、参加者主体の鑑賞プログラムであること。当館解説ボランティア「MOMATガイドスタッフ」が参加者のみなさまと一緒に展示室をまわり、みなさまとの対話を進めながら、数点の作品を鑑賞します。

ガイドスタッフを案内役に、みなさまは作品を自由に感じ、想像をめぐらせ、それを言葉にして語り合います。作品と向き合い、他の人との対話によって深く作品を掘り下げていく感覚は、まるで謎解きのようにもあり、新たな作品の魅力を発見していただける機会となるでしょう。

日時：休館日を除く毎日、14:00～15:00

場所：所蔵品ギャラリー(1Fエントランス集合)。要観覧券。参加は無料。



展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」
会期	2018年6月5日[火]ー9月24日[月・祝]
開館時間	10:00ー17:00 金曜・土曜は20:00まで(入館は閉館30分前まで) 企画展「ゴードン・マッタ＝クラーク展」会期中(6月19日ー9月17日)の金曜・土曜は、21:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし7月16日、9月17日、9月24日は開館)、7月17日[火]、9月18日[火]
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 本館 4～2階 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般500(400)円 大学生250(200)円 * 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料 * ()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。 * 「ゴードン・マッタ＝クラーク展」会期中(6月19日ー9月17日)夕方17時以降は、大学生無料 * 本展の観覧料で、 <u>入館当日に限り</u> 、工芸館 所蔵作品展「こどもとおとなのアツアツこうげいかん」(6/19ー8/26に限る)もご観覧いただけます。
無料観覧日	毎月第一日曜日(7月1日[日]、8月5日[日]、9月2日[日]) * 本展のみ(企画展「ゴードン・マッタ＝クラーク展」は観覧料が必要です)
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) http://www.momat.go.jp (ホームページ)
同時開催	企画展ギャラリー(1F) ◆「ゴードン・マッタ＝クラーク展」2018年6月19日[火]ー9月17日[月・祝] 観覧料:一般1,200(900)円 大学生800(500)円 * リピーター割引: 本展使用済み入場券をお持ちいただくと、2回目以降は特別料金でご覧いただけます。(一般500円、大学生250円) * 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料 * ()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 「ゴードン・マッタ＝クラーク展」の観覧料で、当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」もご覧いただけます。